



Chitose Rotary Club

今村会長テーマ
“人・地域に思いやる心”

会長 今村 静男 副会長 藤本 敏廣 幹事 酒井 宏
会長エレクト 村田 研一 会計 沼田 常好
第2510地区ガバナー 熊澤 隆樹 第7グループ・ガバナー補佐 大坂 直人

～ 9月は新世代のための月間 ～

本日の例会 (9月22日 第12回) 夜間移動例会

担当：親睦活動/健康委員会
～丸駒温泉旅館～

2011年～2012年度 第11回 (通算2183回) 例会報告

日時：2011年9月15日 12:30～13:30
場所：ANAクラウンプラザホテル千歳
プログラム：通常例会
担当：ロータリー情報・定款細則委員会
司会：SAA・プログラム副委員長 椛川 勝文

今、会員増強委員会を中心に進めています会員増強も活きの良い新入会員を確保して、千歳ロータリー・クラブの若返りを図りたいと思っています。

私の仕事の関係で、9月11日、ANAクラウンプラザホテル千歳において華道の流派の一つであります「小原流千歳支部設立30周年式典」がありました。私の会社も設立以来、月一回の研究会では花材の調達店として関わって参りましたので、この度、小原流の小原規容子理事長より感謝状を頂戴いたしました。ちなみに小原流千歳支部の副支部長は小笠原良会員の奥様で、式典ではご挨拶をされる機会も多く、女性らしいきめ細やかな式進行ぶりは素晴らしく、盛会でした。さすが副支部長として式典を進めており、たいへんご苦労が多く、見習うことがありました。

来週22日は丸駒温泉旅館での夜間移動例会です。日中は「支笏湖畔歩こう会」です。初秋の支笏湖・丸駒温泉で大いに語り、親睦を深めましょう。

四つのテスト



新世代・ローターアクト委員長
菅原 正行

幹事報告

幹事 酒井 宏

会長挨拶

会長 今村 静男



本日午前、「平成23年度千歳市敬老会式典」が千歳市民文化センターで開催され、クラブを代表して出席して参りました。式典の中、山口市長のご挨拶で「千歳市には75歳以上の高齢者が約7500人もの方々がお元気でお住まいで、全国の市町村では、65歳以上の高齢者の居住率は平均20%以上を占めていますが、千歳市は17%台と全国でも珍しい若者の町です」とのことです。これは自衛隊が大きく関わっており、『基地の町・千歳』を象徴していると思われます。このような町ですので、

1. 当クラブから2013年規定審議会に制定案を提案するために地区に上申しましたところ、この度、地区を通じて日本事務局から指導事項2点について連絡がありました。早速、佐藤PG、福田PCのご指導をいただき、対応策を検討中です。早急に回答案について準備を進めています。
2. 本日、18時30分よりANAホテルにおいて「本宮会員の千歳市議会議長就任を祝う会」を開催します。ご協力をお願いします。
3. 9月11日「私達は忘れない東日本大震災」街頭啓発を会員6名とご家族1名が参加して行いました。10月は、「エスプラザ」前で行います。社会奉仕委員会では、1年を通じて100名以上の会員の参加を目標にしています。新たな施策としての活動ですので、ご支援をお願いします。



ロータリー情報

健康委員会、国際奉仕委員会 中村 堅次 パスト会長



今回の話題は“拔萃のつづり”（その七十）から米長邦雄元将棋連盟会長のお話を引用させていただきます。“仏陀と笑い”という見出しで始まるこの話題は、士が将棋に携わる人だからこそ強く感じることもかもしれません。

注：“拔萃のつづり”は(株)熊平製作所の創始者(故)熊平源蔵氏が社会に感謝・報恩の思いから昭和6年に創刊。心にしみる感動、喜びを、より多くの方々に共感していただければと、社会貢献の思いを込め、戦中戦後の混乱期を除き、一年一冊、141か国の日本大使館や総領事館、全国の金融機関、学校、病院、図書館、官庁、ロータリークラブなど全国83千箇所の個人・団体へ寄贈されている。内容は一年間の新聞、雑誌、書籍などから、珠玉のエッセー、コラムを抜萃した小雑誌で、今年は45万部を配付している。

(クラブ会員にも配付していますので、ご参照ください)

仏陀と笑い～米長 邦雄

『運の良い人間でありたい。これは私が生涯を通じて持っている信条である。この世の中で最も心がけることは運である。運が良くなるかどうかこそが実力である。運は偶然や不可抗力によって左右されるのではなく、その人の実力次第であると信じている。どうすれば運がよくなるか。それについては一冊や二冊の本だけでは語りつくせるものではない。しかし、運気が離れてゆくのは簡単に示すことができる。妬む、ひがむ、そねむ、恨む、羨む、憎む。こんなことがたいていは不幸の始まりといえるだろう。(中略)そこで私が考えついたことは、運がよくなる二つの方法である。それは「笑い」と「謙虚さ」である。笑う門には福来る。(中略)謙虚さはどうか。私のような粗野な人間には到底無理だが、謙虚さは笑いと同時に大事である。謙虚であれば他との比較において妬んだり羨んだりはずまい。自分が至りませんでした、すべて自分のせいです。これは運が良くなる人である。ただし、本来筋を通すべきものを相手方に押されて引き下がるのは卑怯ということであって謙虚とは全く違うから、よくよく考えて心のうちの結論を出すべきである。』
どうぞ皆様方も笑いと言謙虚さをもって運を引き寄せてください。

委員会報告

親睦活動委員長 宮本 伸司



次週22日(木)は、いよいよ丸駒温泉での夜間移動例会と支笏湖畔を歩く、健康委員会主催『歩こうか会』の開催です。夜間移動例会参加者でバス利用の方は当ANAホテル前16時45分集合。歩こうか会でバス利用の方はANAホテル13時20分、

マイカー利用の方は丸駒温泉13時55分集合というように集合場所・時間がそれぞれ違いますのでご確認のうえ遅れずにお集まりください。

ハッピーバースデー!! (40代最後・・・)

親睦活動委員長 宮本 伸司

たまたま、15日が誕生日ということで皆様に祝っていただきたいへん光栄です。親睦委員会では齊藤さんが14日、高橋さんが18日と9月生まれがそろっておりチームでお祝いをしていただいたと思っております。40代最後の年ですのでRCのため頑張っております。ありがとうございます。



RCの皆に祝ってもらえて満面の笑み!(^^)!

会員卓話

○会員満足度アンケートからみたクラブの実態

担当：幹事 酒井 宏



はじめに、私がアンケート結果の説明をして佐藤パストガバナーに講評をいただきます。

「会員満足度アンケート」は、会員がクラブ活動やプロジェクトに対する

まずは当クラブ自慢の分収造林。こんなに町に近いものは他に無い!

満足度合いを知るもので、クラブは元より地区においても例がないと言われていました。このアンケート結果を踏まえて、今後、クラブ運営の改善を図るための基礎資料とするものです。5月25日通常例会において10の設問事項にチェックし、無記名で33名(61.1%)の会員の提出がありました。アンケートの分析結果は、次の通りです。

Q1. あなたは、クラブに受け入れ、歓迎されていると感じますか。

回答者33名のうち「歓迎されている」は31名(93.9%)と圧倒的であり、クラブ内では孤立、孤独する会員は少なく、会員間では相互交流が図られ、信頼感があり、クラブへの帰属性は高いといえます。反面、「歓迎されていない」と回答した2名(6.1%)は、「自分が他の会員と交流する努力をしていない」と「チャンスがない」と答えています。

Q2. あなたは、クラブの組織としての現状をどう思いますか。(複数回答可)

クラブは、「明るく良い雰囲気」と「現状に満足」と「活発に活動している」など良い評価をしているのは全体の56.5%に対して、不満としては「前例踏襲である」が15.9%と最も多く、それに「不

満」、「活発でない」「当たり障りのない意見が通る」が42.0%と半数近くを占めていて高い。

Q3. クラブが、RIや地区の提唱する活動への参加度合いをどう思いますか。

参加度合いが「適度」と「適当」が全体の52.4%と半数を越え、特に、「募金活動」が最も高く、次いで「ロータリー財団」、「米山奨学活動」、「クラブ広報活動」、「他クラブとの交流・親睦活動」が高い。反面、「不十分」「分からない」などが、47.6%を占めている。特に、「新会員勧誘」に対する活動が「不十分」とする回答が最も多く、「国際的奉仕プロジェクト」、「地元の奉仕プロジェクト」活動の参加度合いが低く、「会員のための教育」活動の評価が低い。「新会員勧誘活動」への参加度合いが低い理由として、活動への「無関心」、「関わりから避けている」とあり、新会員勧誘の方法について具体的な指導、教育等が必要といえる。

Q4. あなたは、クラブ活動への参加状況はどうですか。

「積極的に参加」とするが36.4%と全体の3分の1を僅かに上回り、特に、木曜会（ゴルフ等）を含めた親睦活動が最も多く、次いで例会への出席、各種委員会活動、募金活動、地域への奉仕活動に対する参加率が高い。米山記念奨学活動、ロータリー財団、クラブの広報活動、会員のための教育、地域奉仕活動などへは「義務的に参加」が35%である。活動への「不参加」は、全体の15.2%であり、特に「会員増強」「国際的奉仕プロジェクト」への不参加が突出している。

Q4-「会員増強活動」への参加度合いを年齢別に分析すると、積極的に取り組むのは50歳代、70歳以上の会員にみられるが、「義務的に参加」を含めても48.5%と半数を下回り、「不参加」とする会員は各年齢層に平均的におり、「回答なし」を含めると51.5%と半数を越えている。

Q5. クラブの活動およびプロジェクトへの参加に対し満足していますか。

クラブの活動参加に「非常に満足」、「満足」と答えたのが全体の78.8%を占め、特に50歳代と70歳以上の会員に多い。反面、「不満足」と「回答なし」が21.2%であった。「不満足」と答えた理由は、「活動の情報不足」が3分の1を占め、その他「知識不足」、「個人的に時間が取れない」が多い。

Q6-1 会員活動に関するクラブの費用をどう思いますか。

「適当」が68.4%と最も多く、年齢が低いほどその率が高い。反面、「過度」が16.9%で年齢別には70歳以上に多く、「不十分」は3.5%と僅かであった。

Q6-2 クラブの活動別の費用はどう思いますか。

「クラブ会費」及び「ロータリー財団への寄付」が「過度」とする会員が半数以上が占め、次いで「米山奨学会への寄付」が過度と回答している。

「夜間例会を含む例会費用」、「災害見舞金・寄付」、「木曜会を含む親睦活動」に対する評価は、「適当」と回答する率は7割を越えている。会員増強を図るためにも「クラブ会費は安い方が良い」（40歳代）とする意見があった。

Q7. あなたは、例会を楽しんでいますか。

毎週の例会が「楽しい」が81.8%と圧倒的に多い結果となった。例会が「楽しくない」は12%あり、理由は①毎週に例会出席はつらい（50歳代）。②役割の負担があり、気軽に出席できない（60歳代）。③勉強の場になっていないのではないかと（60歳代）。④新鮮味がないのでは・・・（70歳代）とあり、改革・変化を求める声がある。

Q8. クラブの会合をより良いものにするためのアイデアをお聞かせ下さい。

複数回答で求めた結果、「会員の活動の機会を増やす」が22.2%と最も多く、「より良い講演者」が15.5%、「職業に関する情報」が14.4%とトップ3を占めた。少数意見として「家族参加の機会」「奉仕の時間を多く」「会員卓話を多く」「夜間通常例会（ビールを飲む会）を増やす」（50歳代）の意見があった。

Q9. あなたの配偶者・パートナー・家族は、あなたがロータリーに参加していることに関してどのように思っていますか。

「ロータリーに関する関心がない」「知らない」とする家族が32.3%と多く、次いで「費用がかかり過ぎる」という経済的な負担を挙げている。反面、「誇りの思っている」との回答が16.1%と比較的に少なかった。

Q10. 今村年度の運営や活動等について「期待したいこと」を簡単に教えて下さい。

この設問に対しては、24項目の意見が出されました。今村年度もスタートして2ヶ月半となり、貴重な意見を運営や活動を展開する上に反映して行きまします。会員の皆さんから寄せられたご意見は、別途、配布することとしております。

今後、一層のご協力とご支援をお願いします。

講評：佐藤 秀雄 パストガバナー



会員満足度アンケート結果のご報告をいただきました。これは会員皆様方の総合的なご意見であり、たいへん参考となったのではないのでしょうか。その中で、新会員勧誘に対して約50%もの方々が不十分と答えており、気になる部分でもありますので、多少コメントしておきます。

今、ロータリーは会員減少に歯止めがかからない状況です。ただし、総体的にRI全体では減少しておらず、日本の減少が顕著です。1996、97年には13万人もいた日本の会員数が、現在は8万7千人に減少しています。同年で地区の会員数4,300名が2,800名余へと激減しております。

私どものクラブでは2年間に亘って佐々木昭会員増強委員長を先頭に増強活動を展開し、今年はチームを組んで11月までに結果を出そうと取り組んでおります。種々の考えもあり、例えば「質の高い会員だけで十分。むやみな会員数増加は疑問」等々のご意見もあり理解できるものですが、人間の体に例えると会員は“血液”であり、血液がなくなると死に至ります。クラブ組織存続の根幹に係わることであり、5チームで力を合わせて熱意を持って会員増強に取り組んでいきましょう。

ここ20年来もの間、会員増強に尽力してきましたが思うような結果が出ていません。原因の一つには経済問題も挙げられますが、主因はロータリーの哲学というか心を新しい会員へ伝えられていない、伝えていないことにあると思われます。古い会員はもちろん心からのお付き合いで生涯ロータリーという人が多い反面、入会間もない2～3年の方々は、ロータリーでは何をやっているか分からない、ロータリーとは何ぞやという会員が多く、退会につながっているようです。そこで入会時の教育というかロータリーとは何たるものかということ私達、古参会員が皆様に伝授しなければならない義務もあると思います。執行部、会長は1年毎入れ替わるので、トップに立ったリーダーが会員増強活動にしろクラブ活動にしろ、情熱をもってあたることにより会員がついてくる事が顕著であります。その年度の会長が一つ一つの事業に熱意を持ってあたることによって方向性が変わって来ます。

当クラブでは、もちろん佐々木昭増強委員長が情熱と熱意をもって増強活動を展開してくださっておりますので、執行部も熱意をもって支えていくことが会員増強においては重要です。今回は、お年寄りの会員と若い会員とが平均化されて5チームに分かれて構成されていますので、チームごとに競って増強活動を展開してください。

また、酒井幹事から報告がありました終身会員制導入案を2013年度の規定審議会へ2510地区から提案いたします。審議会でのどのような判断が下されるかは分かりませんが、この高齢化社会を踏まえてロータリーも終身会員は必要な制度であると私は考えています。ただし、この制度を設けるにあたっては年齢問題や人頭分担金等々の難題が残っております。今後はガバナーと酒井幹事を中心に協議していただき、11月末までにはRIの方へ提案が出来るようお願いしたいと考えております。

いずれにしても、会員満足度アンケートにあるように、新会員勧誘が不十分だという結果が出ていますので、11月末を目指して一人でも二人でも会員増強を推進していきましょう。

本宮輝久会員の千歳市議会議員就任を祝う会



6月に千歳市議会議員に就任された本宮輝久会員の祝う会が、9月15日ANAクラウンプラザホテル千歳にて開かれ、会には来賓の山口幸太郎千歳市長をはじめ35名の会員が出席し、本宮会員の就任をお祝いしました。

会は、高橋会員の司会により進行され、世話人会代表の佐々木金治郎直前会長、今村会長の挨拶、山口市長からの祝辞の後、佐藤PGの祝杯により宴がはじま

りました。

本宮会員と美佐子夫人に記念品と花束が贈呈された後、村田研一会員の進行により、各テーブルから激励や懐かしい思い出話のスピーチをいただき、千歳高校同期生も会員に多くおり和やかな会となりました。本宮会員からは今後の決意表明とお礼の挨拶があり、五十嵐桂一会員の締めの挨拶で会はお開きとなりました。

本宮 輝久会員の挨拶

こんなに盛大なお祝いの会を開催していただき誠にありがとうございます。23代目の市議会議員ですが、過去この様なお祝いをしてもらえた方がいたでしょうか・・・本当に幸せ者です。この感激は一生忘れません。せっかくいただいた市議会議員のチャンスを全うしていきます。本当にありがとうございました。

出席率

今 回：60.0% (9月15日=33/55、実数)

確 定：43.6% (9月4日=24/55、

うちメーキャップ0名)

ニコニコBOX

今村 静男 会長

11日、小原流千歳支部設立30周年式典にて小原理事長より感謝状を頂きました。

丹治 秀一 会員

ガバナー公式訪問時に熊澤ガバナーをロータリーの森林にご案内しました。ご丁寧な礼状を頂き感謝申し上げます。

齊藤 博徳 会員

妻の誕生日に綺麗なお花を頂き有難うございました。ちなみに9月14日、私と妻、同じ誕生日です。

宮本 伸司 会員

本日、誕生日です。40代最後の年となりました。

大澤 雅松 会員

二男修平が部長を務める早稲田大学グリークラブが今朝(9月15日)の毎日新聞22面に記事で取り上げられました。

萩川 勝文 会員

本日、下山委員長の代わりに司会をさせていただきます。アドリブなしですが、よろしく願い申し上げます。

沼田 常好 会員

天皇陛下に9月9日お会いしました。ものすごいオーラがありました。欠席続きですみません。

高橋 都 会員

9月18日は誕生日です。一つ齢を重ねまして、やっとなりの仲間入りです。

本日のニコニコ集計 8名 20,000円

スケジュール

9/29 (木) 夜間通常例会「友好クラブ神戸南RC合同例会」

10/6 (木) 通常例会、ゲスト卓話：支笏湖自然保護官事務所自然保護官 笠原綾氏

10/16 (日) 地区大会本会議 (小樽市民会館)
【13日振替】